

すこやか便り 12月号

令和2年12月1日 文責：青砥 真由美

寒さが少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れが感じられる頃となりました。今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に最後のひと月となりました。12月下旬からは冬休みも始まります。今年は冬休み期間がいつもの年より短くなることが予想されますが、充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。

小、中、高生は、冬休み中に特別療育を計画しています。「密」を避けながら、他学年と交流ができるように設定していきます。いつもの曜日・時間帯から変更になっていますので、予定票（ピンク色の用紙）の確認をお願いします。



《 幼児のマスクの着用について》

コロナウイルス感染症の感染拡大の状況が続いています。来所時は、子ども達のマスクの着用をお願いしていますが、WHO は5歳以下のマスクの着用について、子ども達が適切にマスクを着用するには、大人の助けが必要であることや、マスク着用により息苦しさや体調不良が起こる可能性があることから、子どものマスクの着用は必ずしも必要ないとしています。このことから、幼児のマスクの着用については、お子さんの体調などに十分に注意して頂き、無理のないようにお願いしたいと思います。



「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」

「ふわふわ言葉」とは、「ありがとう」「すごいね」「よく頑張ったね」など、言われると気持ち嬉しくなる言葉です。頑張っている時やつらい時に、こんな言葉を聞くと励まされます。「ふわふわ言葉」を話す時は、どんな言葉掛けをすることで、相手を喜ばせたり励ましたりできるかを考えて話をしています。

これに対し「チクチク言葉」は、「バカ」「きもい」「うざい」など、言われると心が傷つく言葉のことです。「チクチク言葉」を話す時は、相手の気持ちや心の痛みを全く考えずに話し、その時に自分が感じたいらだちや不快な気持ちをそのまま伝えてしまうので、相手が傷ついてしまいます。

子育て中は毎日忙しく過ごすことが多いと思いますが、気持ちに余裕がある時に「ふわふわ言葉」を意識して、お子さんに声掛けをしてみてください。そうすることで、相手を思いやる気持ちが育ち、コミュニケーション力を高めることに繋がります。